

新年のご挨拶

明けましておめでとうございます。

旧年中は、格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

地震等で被災された多くの方々に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早い復旧と、被災された方々が日常生活に戻れるよう、お祈り致しております。

■ 代表取締役社長 馬場 太一郎 からのご挨拶

新年、明けましておめでとうございます。

昨年は、社会的にも経済的にも開放された一年になりました。

本年は、甲辰（きのえたつ）の年であり、甲（きのえ）には草木の成長を表し、昨年までに努力したことが実を結ぶ年と表現されております。

株式会社富士クリーンは、本年の7月より50年目をスタートする年になります。

これまでの49年間、多くの方に支えられ、そして助けられ、ここまで会社を継続することができました。

この49年間でしっかりと実を結びながら、これから始める事、これまで取り組んできた事が成就するよう先の50年を考え歩んでいける年にして参りたい所存です。

まだ、経験したことが無い「新たなことへ挑戦」し、さらに「認められる富士クリーン」へなれるよう歩みを進めていくことはもちろん、変えなくてはいけない事に対してもしっかりと終止符を打って参りたいと考えております。挑戦することで、結果がついてこないことの方が多いとは思いますが、まずは行動し、結果が出ていないときでも即座に「何が悪いのか？」逆に「何が良かったのか？」を抽出し、柔軟な対応ができる組織づくり、人財の強化を目指して参ります。直ぐに変化ができない事象に対しても、しっかりと忍耐強く期限を定めて決断できる社内風土を構築して参ります。

本年は、スピード、即効性をテーマにあげ、激流の社会変化、経済変化の中でも、組織チーム力を武器に社員一同で、乗り切りながら力強い年にしたいと考えております。

そして、情報の共有、問題へのアプローチに時間をかけて冷静に分析する事は、もちろん大切なことなのですが、困りごとや課題に対して、すぐに駆け付け、情報を共有し、決断と行動までをスピード感をもって取り組むことで、企業（組織）の責任に対してより貪欲に向き合う一年にして参ります。

本年には、50年間の土台が完成します。

「軟弱な土台にするか」「エネルギー溢れる土台にするか」ととても大切な年であることを経営陣、社員一同それぞれが深く意識し、快刀乱麻を断つ（かいとうらんまをたつ）鋭い刀で、乱れた麻糸を断ち切ることを目指します。待ち受ける問題や課題に対して「快刀乱麻を断つ」ことにより、知恵や気付きを探究し続けることで、その精神を企業内風土に取り入れるチャンスであるとも考えております。

「いつか誰かがやってくれる」「わたしが考える事ではない」という事は、富士クリーンの中にはありません。

本年は、最大限の自力と仲間との知恵を融合させ、即日実行をテーマに進めて参ります。

本年もご指導ご鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



本件に関するお問合せ先：

株式会社富士クリーン (087-878-3111) soumu@fujicl.com